

つなぐ



<設立状況(30.8.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 26(28地区)
 まちづくり協議会準備会 2(2地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL: (089) 948-6963 FAX: (089) 934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

Vol. 20



～地域の力で災害に立ち向かう～



【中島地区】(7月7日 18時頃 市職員が被害調査の際に撮影)

ボランティア募集

松山市社会福祉協議会が設置しているボランティアセンターでは、市内の被災地からの要望に応じて随時ボランティアを募集しますので、ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

松山市社会福祉協議会
 ボランティア活動推進課

Tel : 921-2141 Fax : 921-8360



平成30年7月豪雨により犠牲となられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、災害により不安な日々を過ごされている被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨では、松山市内41地区全ての避難所が開設され、土砂災害や床上浸水など多くの被害をもたらしました。改めて、自然災害の恐ろしさや、いつ起こるかわからない災害に備えることの大切さを認識させられました。普段から隣近所とのつながりを持つこと、また各地域団体が集まり、情報を共有し、一丸となって災害に強いまちづくりに取り組むことが求められているのではないのでしょうか。

今こそ、地域の力を結集し、災害に立ち向かいましょう！

被災地では、今も多くの方々が土砂の撤去や清掃、ゴミ出しなどを行っています。猛暑が続きますので、炎天下での作業には特に気を付けてください。

まちづくり協議会

まちづくり協議会は、地域の様々な団体（町内会、PTA、公民館、自主防災組織など）で構成されています。そのため、まちづくり協議会が関わる防災訓練では、構成団体が連携・協働して様々な場面を想定した訓練が行われています。地域の様々な団体が関わり協働することで、地域内の課題を共有できる場が増え、これまで解決できなかったことが解決しやすくなります。

防災訓練以外にも、福祉マップなどに避難所の場所を記載し配布したりするなど、地域の安心安全に一役買っています。



新玉地区まちづくり協議会と地区防災会連合会が協働した防災大会。バケツリレーや倒壊家屋からの脱出訓練などが行われた。昨年度は600人の地域住民が参加。



非常用バッグのチェックリストや地震が起きたときの行動など、地震に備える情報がまとめられたポスター。冷蔵庫に貼ることのできるサイズ。

松山市の取り組み



◎改訂版まつやま防災マップ

東日本大震災以降、国及び県が南海トラフ巨大地震の被害想定を公表したことや、防災に関する法律や制度の改正などを踏まえ、平成23年2月に発行した「まつやま防災マップ」の改訂版を作成し、平成27年3月に市内全戸配布しました。

日ごろから、家族や地域の皆さんと一緒に、災害から身を守る方法や地域の避難場所・避難経路を確認するなど、「わが家の防災マニュアル」としてご活用をお願いします。

各家庭でいつでもすぐに、繰り返し見られるよう、分かりやすい場所に保管していただき、災害時に限らず、市内地図などとして普段使いにもご利用ください。



◎木造住宅耐震補助事業

松山市では、安全で災害に強いまちづくり実現のため、木造住宅の耐震診断・耐震改修にかかる費用の一部を補助します。平成28年度より、申し込み手続きが簡単で気軽に耐震診断を受けていただける「派遣制度」を実施しています。対象となる木造住宅や受付期間など、詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

松山市役所 建築指導課
☎948-6512

STEP①

耐震診断

補助制度
派遣制度

STEP②

耐震改修…最大114万円補助



防災特集

いざという時のために...

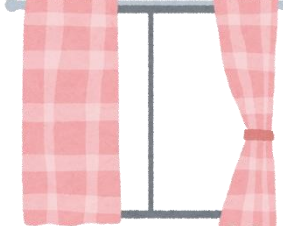


先月、平成30年7月豪雨が発生しました。松山市でも全地区で避難勧告が発令され、土砂災害など多くの被害を受けました。

そこで、自然災害が発生した際に対応できるよう、知っておくと役立つ情報等の特集します。



タンスなど倒れやすい家具はし型金具やボールなどで固定しましょう。



窓ガラスにカーテンを付けることで、ガラスの飛散を軽減させることができます。

防災バッグのチェックリスト



長い避難所生活になっても対応できるよう、非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサック等に詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。1人の大人が背負って歩くことに支障のない重さは、男性で15kg、女性で10kgとされています。

必需品をチェックリストにしたので、今回を機に防災バッグの中を再確認してみましょう！

- | | | |
|--|---|---|
| ☐ 非常用袋
(リュックサックがおすすめ) | ☐ 携帯電話
(充電器もセットで準備) | ☐ 防災ずきん・ヘルメット
(避難時に使用します) |
| ☐ 飲料水
(1人1日3Lが目安) | ☐ 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液など) | ☐ 予備の眼鏡やコンタクト |
| ☐ 非常食
(持ち運びしやすく高カロリーなもの) | ☐ 軍手や革手袋
(ガラス片などでのけがを防止) | ☐ 筆記用具 |
| ☐ 懐中電灯
(予備電池もセットで用意) | ☐ ポリ袋
(応急手当や調理など多用途に便利) | ☐ トイレットペーパー
ウェットティッシュ |
| ☐ 貴重品
(印鑑と通帳はセットで保管) | ☐ 笛やブザー
(居場所を知らせることができます) | ☐ マッチやライター |
| ☐ お金
(公衆電話用に小銭も準備) | ☐ 着替え
(下着も含みます) | ☐ レジャーシートや毛布
(寝袋としても便利です) |
| ☐ 携帯ラジオ
(予備電池もセットで準備) | ☐ 雨カップ
(防寒具の代わりにもなります) | ☐ 簡易トイレ |

まちづくり協議会準備会が設立されました！！

準備会の設立を機に、各団体が1つの輪になって新しい「河野」をつくっていきたいです。



河野地区まちづくり協議会準備会
会長 阪本 史寛さん

7月2日（月）に河野地区でまちづくり協議会準備会の設立総会が開催されました。松山市では27番目（29地区目）の設立となります。河野地区は、瀬戸内海の斎灘に面しており、高縄山からの豊かな水がおいしいお米や魚を育てています。農業や漁業以外にも、中世の豪族河野氏発祥の地で、砦跡なども多く残り、歴史を体感できる地区です。少子高齢化などの地域課題もありますが、地域の人が住みやすいまちづくりを目指します。



河野地区

人口 5,581 人
世帯数 2,163 世帯
※H30.7.1 現在

今回の豪雨を教訓に、災害に強いまちづくりを進め、地域の人と協力していきます。



高浜地区まちづくり協議会準備会
会長 井上 仁さん

7月24日（火）に高浜地区でまちづくり協議会準備会の設立総会が開催されました。松山市では28番目（30地区目）の設立となります。高浜地区は、自然豊かで、地区内に松山観光港があるため、海の玄関として栄えています。また、夏目漱石の小説「坊っちゃん」に登場し、ターナー島の愛称で親しまれている四十島などの地域資源にも恵まれています。地域の魅力を活かし、課題解決に向けた活動を地域が一丸となって取り組めます。



高浜地区

人口 6,992 人
世帯数 2,950 世帯
※H30.7.1 現在

第4回まちづくり女子会を開催しました

お菓子を食べながらなので雰囲気良く、話しやすかったです。



色んな悩みが共有できたり、アイデアをもらえたり充実した時間でした。



6月5日（火）、8日（金）にまちづくり女子会を開催しました。まちづくり女子会は昨年からは始まり、参加者から好評だったため今年度も開催しています。各まちづくり協議会や地域の中で活躍されている女性に集まっていただき、各地区の事業や地区内の課題など活発な意見交換が行われました。今回は、両日合わせて過去最多の34名の方に参加していただき、終始会話が途切れないほどの盛り上がりを見せていました。また、幅広い世代の方に参加していただき、女性ならではの意見やまちづくりに対しての熱い思いなどたくさん話していただきました。今年度も昨年度と同様、3期（6回）開催予定です。まちづくりに対して興味や悩みがある方の参加を是非お待ちしております。